

瀬戸内町告示第 38 号

財政状況の公表に関する条例(昭和47年瀬戸内町条例43号)第2条の規定により、令和2年度決算および令和3年度上半期の財政状況を別紙のとおり公表する。

令和3年11月1日

瀬戸内町長 鎌田 愛人



令和3年度 上半期

財政状況の公表

鹿児島県 瀬戸内町

目 次

財政動向及び財政方針	.....	1
1 令和2年度 決算のあらまし	.....	2
(1) 概要	.....	2
(2) 各会計実質収支の状況	.....	2
(3) 一般会計歳入の状況	.....	8
(4) 一般会計歳出の状況	.....	10
(5) 町債の状況	.....	12
2 令和3年度 上半期財政運営のあらまし	.....	13
(1) 予算の規模	.....	13
(2) 予算の執行状況	.....	15
3 町有財産の状況	.....	17

## I 財政動向及び財政方針

本町では、町民の皆様に町財政について正しく理解していただくため、町条例に基づき毎年5月1日及び11月1日の2回、財政状況を公表しています。今回は、令和2年度決算及び令和3年度上半期の財政運営を中心に財政状況を公表します。

本町の財政状況について、一般会計は、令和2年度決算において、前年度に比べ特別定額給付金（コロナ関連）等により総務費が18億6千万円増加、一般廃棄物し尿処理施設建設事業の繰越により衛生費が7億円減となりました。普通建設事業費全体では2億2千万円の減となっています。

特別会計は前年度に引き続き各特別会計において赤字決算はありませんでした。今後も健全な財政運営に努めます。

本町の財政状況は、これまでの絶え間ない財源確保対策と節減努力等により、着実に健全化が進んでいます。しかしながら、今後の新規建設事業や、大規模な施設建替え事業、老朽化対策に伴う大規模な補修・改修などの計画があり、その経費は膨大となる見込みです。本町全体の資産再構築においては、今後も継続して収支バランスを考慮し、長期的視野で計画的に取り組み、事業を平準化することで財務の悪化を回避するよう努めます。

国の令和3年度の地方財政対策においては、新型コロナウイルス感染症への対応が喫緊の課題となっていますが、具体的な予見には限界があることも事実としてあります。その中で、基本的に対前年度と同程度の水準を確保しつつ、新型コロナウイルス感染症への緊要な経費については、別途、所要の要望が行えることとなり、歳出改革の強化、施策の優先順位の洗い直し、無駄の徹底的な排除を行い予算の中身を大胆に重点化する、としています。

このような状況にあっては、地域活性化につながる事業に重点的に投資しつつ、全体を平準化する予算編成制度を構築することで「地方創生と財政健全化をバランスよく推進できる持続可能な財政運営」を目指す必要があります。そのため、より一層の経費節減努力と主要事業への重点配分を行うなど、メリハリの効いた予算編成と持続可能な財政運営に努めてまいります。

# 1 令和2年度決算のあらまし

## (1) 概 要

令和2年度の各会計決算総額(水道事業を除く)は、歳入総額15,164,502千円に対し、歳出総額14,342,060千円で、差引822,442千円の黒字となりました。また、翌年度に繰り越すべき財源229,799千円を減じた実質収支は592,643千円となっています。

## (2) 各会計実質収支の状況

### 1). 一般会計

一般会計の歳入歳出決算額は、歳入歳出予算額それぞれ13,010,284千円に対し、歳入決算額で11,398,718千円、歳出決算額で10,664,575千円となり、前年度に対し歳入決算額で1,235,485千円、12.2%の増、歳出決算額で1,042,235千円、10.8%の増となっています。

決算収支の状況は、歳入決算額から歳出決算額を差し引いた形式収支で734,143千円の黒字となり、翌年度へ繰り越すべき財源228,292千円を差し引いた実質収支も505,851千円の黒字となっています。また、本年度の実質収支額から昨年度の実質収支額446,462千円を差し引いた単年度収支額も59,389千円の黒字となっています。この単年度収支額に財政調整基金の積立金223,232千円を加え、取崩額223,232千円を差し引いた実質単年度収支額も59,389千円の黒字となっています。

(単位：千円)

一 般 会 計							
年 度	歳入総額 A	歳出総額 B	歳入歳出 差 引		翌年度に 繰越すべ き財源 D	実質収支 C-D E	単年度収支 F
			A-B	C			
2年度	11,398,718	10,664,575	734,143		228,292	505,851	59,389
元年度	10,163,233	9,622,340	540,893		94,431	446,462	4,872
	財調積立金 G	繰上償還金 H	積立金取崩額		I	実質単年度収支 F+G+H-I	
2年度	223,232	0			223,232	59,389	
元年度	220,795	0			218,222	7,445	

### 2). 巡回診療施設特別会計

巡回診療施設特別会計の歳入歳出決算額は、歳入歳出予算額376,571千円に対し、歳入決算額で306,441千円、歳出決算額で304,934千円となり、前年度に対し歳入決算額で37,939千円、14.1%の増、歳出決算額で36,432千円、13.6%の増となっています。

決算収支の状況は、歳入決算額から歳出決算額を差し引いた形式収支で1,507千円の黒字となり、翌年度に繰り越すべき財源を差し引いた実質収支及び単年度収支はそれぞれ0円となっています。

(単位：千円)

巡 回 診 療 施 設 特 別 会 計							
年 度	歳入総額 A	歳出総額 B	歳入歳出 差 引		翌年度に 繰越すべ き財源 D	実質収支 C-D E	単年度収支 F
			A-B	C			
2年度	306,441	304,934	1,507		1,507	0	0
元年度	268,502	268,502	0			0	0
	財調積立金 G	繰上償還金 H	積立金取崩額		I	実質単年度収支 F+G+H-I	
2年度	0	0			0	0	
元年度	0	0			0	0	

### 3). 国民健康保険特別会計

国民健康保険特別会計(事業勘定)の歳入歳出決算額は、歳入歳出予算額1,325,098千円に対し、歳入決算額で1,287,890千円、歳出決算額で1,254,578千円となり、前年度に対し歳入決算額で6,833千円、0.5%の増、歳出決算額で18,843千円、1.5%の減となっています。

決算収支の状況は、歳入決算額から歳出決算額を差し引いた形式収支で33,312千円の黒字、翌年度に繰り越すべき財源を差し引いた実質収支も同額の黒字となっています。単年度収支についても25,676千円の黒字となっています。

次に、国民健康保険特別会計(直営診療勘定)の歳入歳出決算額は、歳入歳出予算額17,152千円に対し、歳入決算額で16,936千円、歳出決算額で16,293千円となり、前年度に対し歳入決算額で924千円、5.2%の減、歳出決算額で479千円、2.9%の減となっています。

決算収支の状況は、歳入決算額から歳出決算額を減じた形式収支で643千円の黒字、翌年度に繰り越すべき財源を差し引いた実質収支も同額の黒字となっています。単年度収支については445千円の赤字となっています。

(単位：千円)

国民健康保険事業勘定							
項目 年度	歳入総額	歳出総額	歳入歳出 差引		翌年度に 繰り越すべ き財源 D	実質収支 C-D E	単年度収支 F
	A	B	A-B	C			
2年度	1,287,890	1,254,578	33,312		0	33,312	25,676
元年度	1,281,057	1,273,421	7,636		0	7,636	3,637
	財調積立金 G	繰上償還金 H	積立金取崩額 I		実質単年度収支 F+G+H-I		
2年度	0	0	0		0	25,676	
元年度	0	0	0		0	3,637	

(単位：千円)

国民健康保険直営診療勘定							
項目 年度	歳入総額	歳出総額	歳入歳出 差引		翌年度に 繰り越すべ き財源 D	実質収支 C-D E	単年度収支 F
	A	B	A-B	C			
2年度	16,936	16,293	643		0	643	△ 445
元年度	17,860	16,772	1,088		0	1,088	450
	財調積立金 G	繰上償還金 H	積立金取崩額 I		実質単年度収支 F+G+H-I		
2年度	0	0	0		0	△ 445	
元年度	0	0	0		0	450	

#### 4). 介護保険特別会計

介護保険特別会計事業勘定の歳入歳出決算額は、歳入歳出予算額1,415,900千円に対し、歳入決算額で1,406,170千円、歳出決算額で1,354,612千円となり、前年度に対し歳入決算額で32,255千円、2.2%の減、歳出決算額で13,953千円、1.0%の減となっています。

決算収支の状況は、歳入決算額から歳出決算額を差し引いた形式収支で51,558千円の黒字、翌年度に繰り越すべき財源を差し引いた実質収支も同額の黒字となっています。単年度収支については18,302千円の赤字となっています。

(単位：千円)

介護保険特別会計						
項目 年度	歳入総額	歳出総額	歳入歳出 差引	翌年度に 繰り越すべ き財源	実質収支	単年度収支
	A	B	A-B C	D	C-D E	F
2年度	1,406,170	1,354,612	51,558	0	51,558	△ 18,302
元年度	1,438,425	1,368,565	69,860	0	69,860	△ 10,593
	財調積立金 G	繰上償還金 H	積立金取崩額 I		実質単年度収支 F+G+H-I	
2年度	0	0	0		△ 18,302	
元年度	0	0	0		△ 10,593	

#### 5). 後期高齢者医療事業特別会計

後期高齢者医療事業特別会計の歳入歳出決算額は、歳入歳出予算額129,000千円に対し、歳入決算額で128,237千円、歳出決算額で126,958千円となり、前年度に対し歳入決算額で17,167千円、15.5%の増、歳出決算額で17,835千円、16.3%の増となっています。

決算収支の状況は、歳入決算額から歳出決算額を差し引いた形式収支で1,279千円の黒字、翌年度に繰り越すべき財源を差し引いた実質収支も同額の黒字となっています。単年度収支については668千円の赤字となっています。

(単位：千円)

後期高齢者医療事業特別会計						
項目 年度	歳入総額	歳出総額	歳入歳出 差引	翌年度に 繰り越すべ き財源	実質収支	単年度収支
	A	B	A-B C	D	C-D E	F
2年度	128,237	126,958	1,279	0	1,279	△ 668
元年度	111,070	109,123	1,947	0	1,947	494
	財調積立金 G	繰上償還金 H	積立金取崩額 I		実質単年度収支 F+G+H-I	
2年度	0	0	0		△ 668	
元年度	0	0	0		494	

6). 屠畜場事業特別会計

屠畜場事業特別会計の歳入歳出決算額は、歳入歳出予算額2,184千円に対し、歳入決算額及び歳出決算額は同額の1,906千円となり、前年度に対し歳入歳出決算額で81千円、4.1%の減となっています。主な要因は、営業費の減によるものです。

決算収支の状況は、歳入決算額から歳出決算額を差し引いた形式収支、翌年度に繰り越すべき財源を差し引いた実質収支及び単年度収支はそれぞれ0円となっています。

(単位：千円)

屠畜場事業特別会計							
項目 年度	歳入総額	歳出総額	歳入歳出 差引	翌年度に 繰り越すべ き財源	実質収支		単年度収支
	A	B	A-B C	D	C-D E	F	
2年度	1,906	1,906	0	0	0	0	
元年度	1,987	1,987	0	0	0	0	
	財調積立金 G	繰上償還金 H	積立金取崩額 I		実質単年度収支 F+G+H-I		
2年度	0	0	0		0		
元年度	0	0	0		0		

7). 船舶交通事業特別会計

船舶交通事業特別会計の歳入歳出決算額は、歳入歳出予算額それぞれ389,856千円に対し、歳入決算額及び歳出決算額は同額の362,869千円となり、前年度に対し歳入決算額で8,313千円、2.3%の増、歳出決算額で33,992千円、10.3%の増となっています。主な要因は補修費・公債費等に係る費用の増によるものです。

決算収支の状況は、歳入決算額から歳出決算額を差し引いた形式収支で0円となり、翌年度に繰り越すべき財源を差し引いた実質収支も同額の0円となっています。単年度収支については25,679千円の赤字となっています。

(単位：千円)

船舶交通事業特別会計							
項目 年度	歳入総額	歳出総額	歳入歳出 差引	翌年度に 繰り越すべ き財源	実質収支		単年度収支
	A	B	A-B C	D	C-D E	F	
2年度	362,869	362,869	0		0	△ 25,679	
元年度	354,556	328,877	25,679		25,679	5,125	
	財調積立金 G	繰上償還金 H	積立金取崩額 I		実質単年度収支 F+G+H-I		
2年度	0	0	0		△ 25,679		
元年度	0	0	0		5,125		

8). 古仁屋港上屋事業特別会計

古仁屋港上屋事業特別会計の歳入歳出決算額は、歳入歳出予算額4,879千円に対し、歳入決算額及び歳出決算額は同額の3,828千円となり、前年度に対し歳入歳出決算額で△17,508千円、82.1%の減となっています。主な要因は、前年度に実施した船津上屋解体工事費の減によるものです。

決算収支の状況は、歳入決算額から歳出決算額を差し引いた形式収支、翌年度に繰り越すべき財源を差し引いた実質収支及び単年度収支はそれぞれ0円となっています。

(単位：千円)

古 仁 屋 港 上 屋 事 業 特 別 会 計							
年 度	歳入総額	歳出総額	歳入歳出 差 引	翌年度に 繰越すべ き財源	実質収支		単年度収支
	A	B	A-B C	D	C-D	E	F
2年度	3,828	3,828	0	0	0		0
元年度	21,336	21,336	0	0	0		0
	財調積立金 G	繰上償還金 H	積立金取崩額 I		実質単年度収支 F+G+H-I		
2年度	0	0	0		0		
元年度	0	0	0		0		

9). 農業集落排水事業特別会計

農業集落排水事業特別会計の歳入歳出決算額は、歳入歳出予算額46,955千円に対し、歳入決算額及び歳出決算額は同額の44,778千円となり、前年度に対し歳入歳出決算額で23,950千円、115.0%の増となっています。主な要因は機能強化事業工事費の増によるものです。

決算収支の状況は、歳入決算額から歳出決算額を差し引いた形式収支、翌年度に繰り越すべき財源を差し引いた実質収支及び単年度収支はそれぞれ0円となっています。

(単位：千円)

農 業 集 落 排 水 事 業 特 別 会 計							
年 度	歳入総額	歳出総額	歳入歳出 差 引	翌年度に 繰越すべ き財源	実質収支		単年度収支
	A	B	A-B C	D	C-D	E	F
2年度	44,778	44,778	0	0	0		0
元年度	20,828	20,828	0	0	0		0
	財調積立金 G	繰上償還金 H	積立金取崩額 I		実質単年度収支 F+G+H-I		
2年度	0	0	0		0		
元年度	0	0	0		0		



10). 簡易水道事業特別会計

簡易水道事業特別会計の歳入歳出決算額は、歳入歳出予算額208,585千円に対し、歳入決算額及び歳出決算額は同額の206,729千円となり、前年度に対し歳入歳出決算額で269,389千円、56.6%の減となっています。主な要因は、本島側簡易水道事業を上水道事業へ統合したことによるものです。

決算収支の状況は、歳入決算額から歳出決算額を差し引いた形式収支、翌年度に繰り越すべき財源を差し引いた実質収支及び単年度収支はそれぞれ0円となっています。

(単位：千円)

簡易水道事業特別会計							
年 度	歳入総額	歳出総額	歳入歳出	翌年度に	実質収支		単年度収支
	A	B	差 引 A-B C	繰越すべ き財源 D	C-D E	F	
2年度	206,729	206,729	0		0	0	
元年度	476,118	476,118	0		0	0	
年 度	財調積立金 G	繰上償還金 H	積立金取崩額 I		実質単年度収支 F+G+H-I		
2年度	0	0	0		0		
元年度	0	0	0		0		

11). 水道事業会計

水道事業会計の収益的収支の決算額は、収入予算額282,316千円に対し決算額297,377千円、支出予算額276,883千円に対し決算額273,715千円となり、差し引き23,662千円の当年度純利益となっています。

次に、資本的収支の決算額は、収入予算額6,002千円に対し決算額4,968千円、支出予算額80,200千円に対し決算額74,236千円となり、差し引き69,268千円の収入不足となっています。この不足額につきましては、消費税及び地方消費税資本的収支調整額1,021千円及び当年度分損益勘定留保資金68,247千円で補填しています。

なお、損益計算書におきましては、令和2年4月1日から本島側簡易水道事業を統合したことにより、143,901千円の欠損金が生じたため、当該欠損金から当年度純利益22,821千円及び地方公営企業法第32条の2の規定により前年度繰越利益剰余金26,803千円を差し引いた94,277千円が当年度未処理欠損金となっております。この当年度未処理欠損金につきましては、利益剰余金の利益積立金から72,400千円、減債積立金から21,877千円をそれぞれ取り崩しまして補填いたします。

(単位：千円)

年 度	収益的収入	収益的支出	差 引	資本的収入	資本的支出	差 引
2年度	297,377	273,715	23,662	4,968	74,236	△ 69,268
元年度	154,570	128,809	25,761	0	37,687	△ 37,687

(3) 一般会計歳入の状況

歳入決算額は、調定額11,490,378千円に対し、収入済額11,398,718千円、収入率は99.2%(対前年度7.4ポイント増)です。

調定額から収入済額と不納欠損額8,383千円を差し引いた収入未済額から、さらに翌年度へ繰越す未収入特定財源を除いた額は83,277千円(対前年度10,882千円減)です。

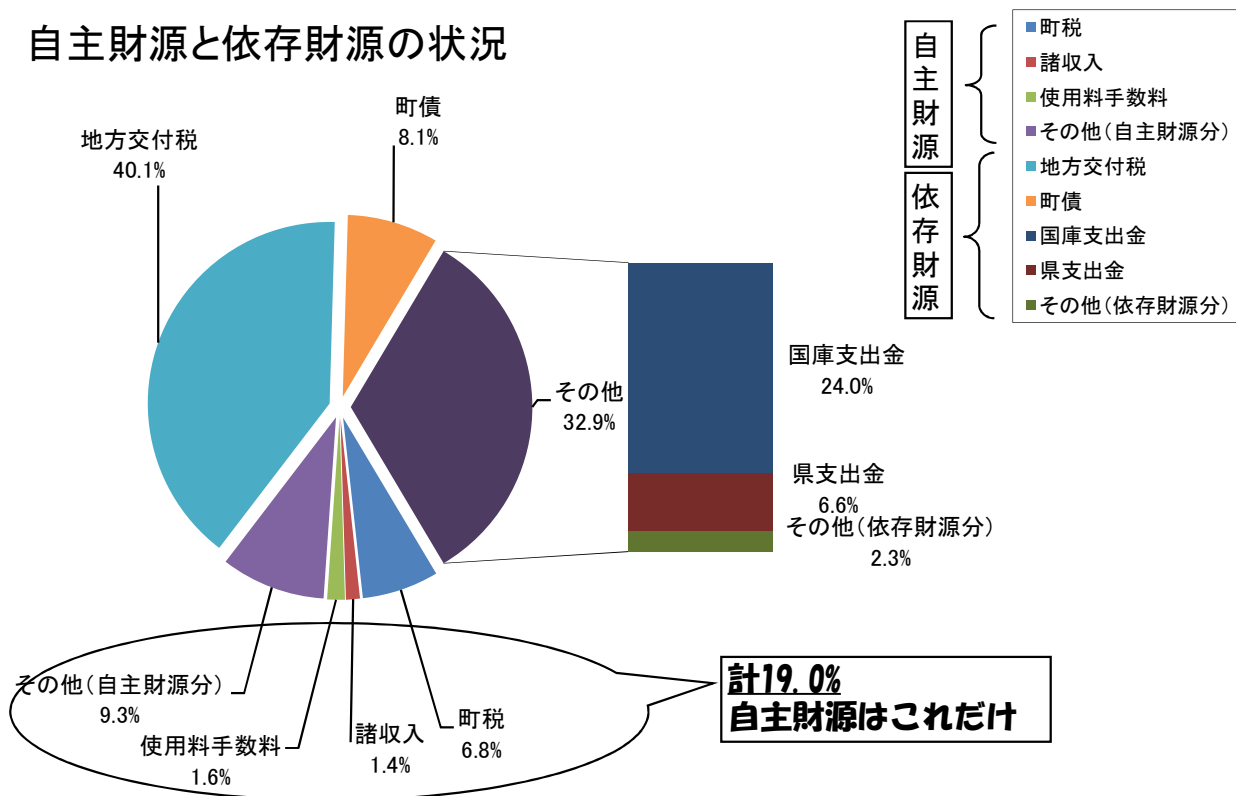
歳入決算額のうち自主財源額(町税や使用料・手数料, 繰入・繰越金等)は2,158,569千円(対前年度140,750千円, 6.1%減)です。依存財源額(国県支出金や地方交付税, 町債等)は9,240,149千円(対前年度1,376,235千円, 17.5%増)です。歳入決算額に対するの割合は自主財源が19.0%(対前年度3.6ポイント減), 依存財源が81.0%(対前年度3.6ポイント増)です。

(歳入決算目的別内訳)

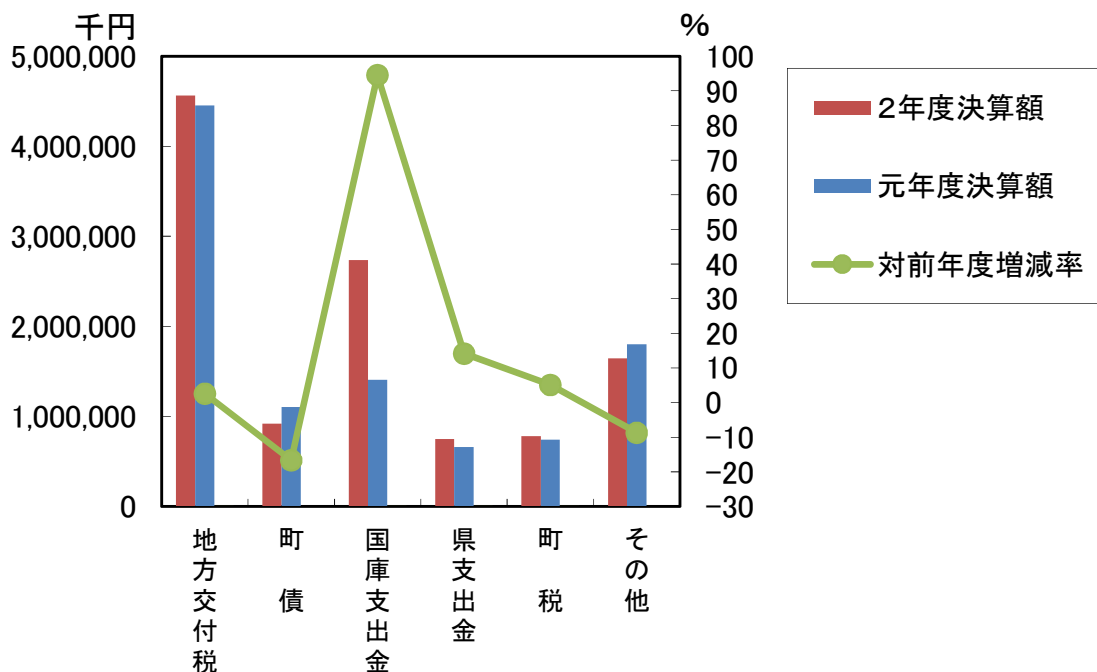
(単位:千円, %)

歳入区分	令和2年度		令和元年度		対前年度増減	
	決算額 A	構成比	決算額 B	構成比	D (A-B)	D/B×100
1 町 税	777,973	6.8	740,246	7.3	37,727	5.1
2 地 方 譲 与 税	58,478	0.5	57,073	0.6	1,405	2.5
3 利 子 割 交 付 金	490	0.0	508	0.0	△ 18	△ 3.5
4 配 当 割 交 付 金	1,429	0.0	1,546	0.0	△ 117	△ 7.6
5 株 式 譲 渡 所 得 割 交 付 金	1,440	0.0	883	0.0	557	63.1
6 法 人 事 業 税 交 付 金	2,370	0.0	0	0.0	2,370	皆増
7 地 方 消 費 税 交 付 金	192,762	1.7	157,736	1.6	35,026	22.2
8 環 境 性 能 割 交 付 金	2,341	0.0	1,384	0.0	957	69.1
9 地 方 特 例 交 付 金	3,340	0.0	16,396	0.2	△ 13,056	△ 79.6
10 地 方 交 付 税	4,566,898	40.1	4,453,362	43.8	113,536	2.5
11 交 通 安 全 対 策 特 別 交 付 金	880	0.0	793	0.0	87	11.0
12 分 担 金 及 び 負 担 金	26,407	0.2	24,533	0.2	1,874	7.6
13 使 用 料 及 び 手 数 料	178,191	1.6	165,997	1.6	12,194	7.3
14 国 庫 支 出 金	2,737,328	24.0	1,406,506	13.8	1,330,822	94.6
15 県 支 出 金	750,162	6.6	656,796	6.5	93,366	14.2
16 財 産 収 入	34,986	0.3	39,807	0.4	△ 4,821	△ 12.1
17 寄 付 金	77,661	0.7	165,485	1.6	△ 87,824	△ 53.1
18 繰 入 金	380,324	3.3	554,388	5.5	△ 174,064	△ 31.4
19 繰 越 金	540,893	4.7	515,542	5.1	25,351	4.9
20 諸 収 入	142,134	1.4	93,321	0.9	48,813	52.3
21 町 債	922,231	8.1	1,105,997	10.9	△ 183,766	△ 16.6
50 自 動 車 取 得 税 交 付 金	0	0.0	4,934	0.0	△ 4,934	皆減
歳 入 合 計	11,398,718	100.0	10,163,233	100.0	1,235,485	12.2

# 自主財源と依存財源の状況



# 令和2年度歳入決算対前年度比較



(4) 一般会計歳出の状況

歳出決算額は、予算額13,010,284千円に対し、支出済額は10,664,575千円、支出率は82.0%(対前年度1.4ポイント減)です。

予算額から支出済額と翌年度繰越額1,844,052千円を差し引いた不用額は501,657千円(対前年度133,733千円増)です。

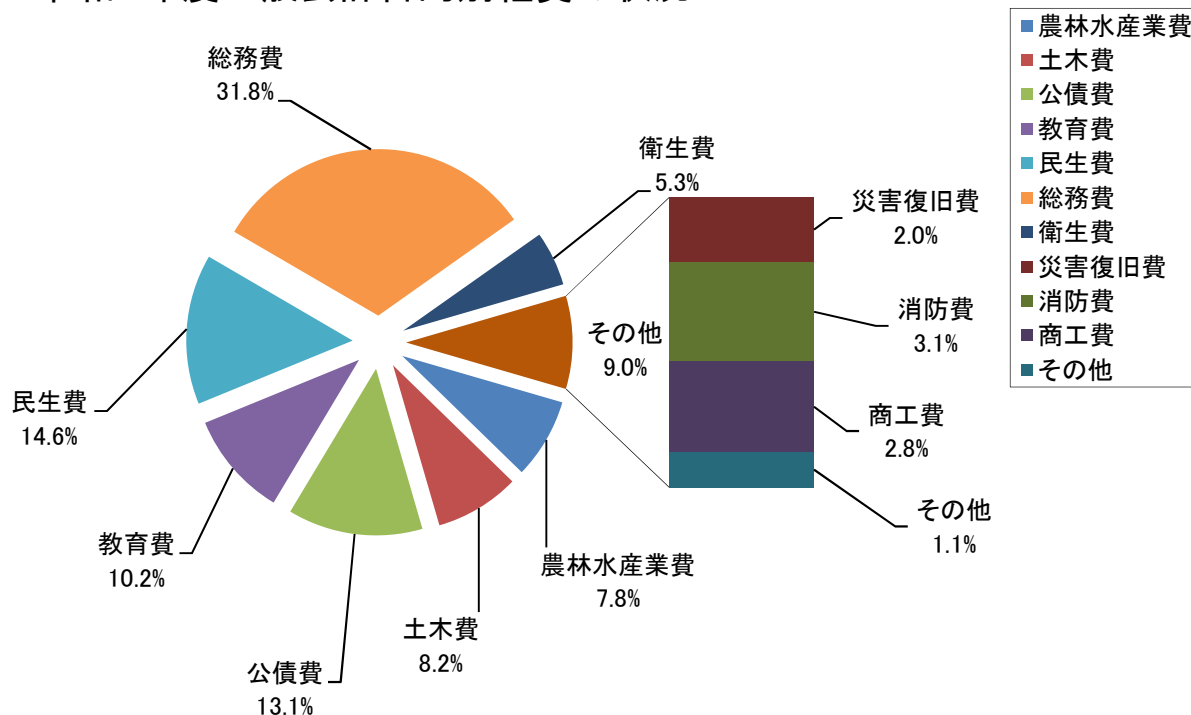
歳出決算額のうち義務的経費(人件費、扶助費、公債費)は3,710,040千円(対前年度223,017千円、6.4%増)、投資的経費(普通建設事業費、災害復旧事業費)は2,470,137千円(対前年度236,572千円、8.7%減)、その他(物件費、補助費等、繰出金など)は4,484,398千円(対前年度1,055,790千円、30.8%増)です。

(歳出決算目的別内訳)

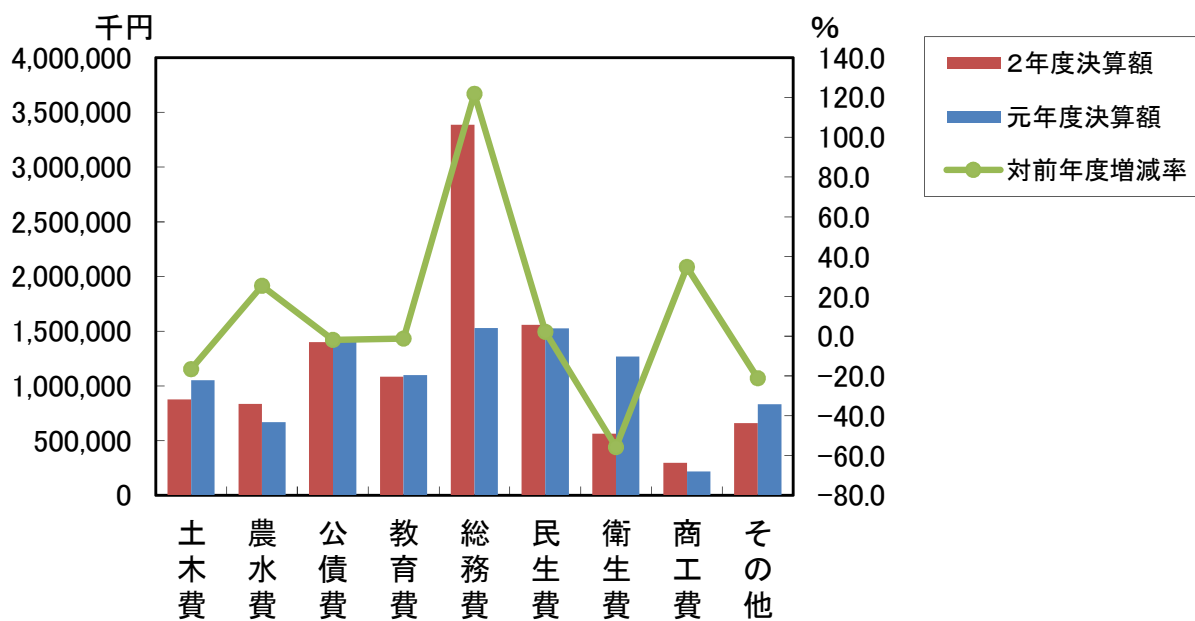
(単位:千円, %)

歳出区分	令和2年度		令和元年度		対前年度増減	
	決算額 A	構成比	決算額 B	構成比	D (A-B)	D/B×100
1 議会費	84,347	0.8	88,985	0.9	△ 4,638	△ 5.2
2 総務費	3,387,798	31.8	1,527,625	15.9	1,860,173	121.8
3 民生費	1,559,917	14.6	1,525,196	15.9	34,721	2.3
4 衛生費	562,903	5.3	1,271,421	13.2	△ 708,518	△ 55.7
5 労働費	14,146	0.1	14,464	0.2	△ 318	△ 2.2
6 農林水産業費	836,638	7.8	667,821	6.9	168,817	25.3
7 商工費	297,732	2.8	220,767	2.3	76,965	34.9
8 土木費	877,285	8.2	1,051,359	10.9	△ 174,074	△ 16.6
9 消防費	326,217	3.1	484,601	5.0	△ 158,384	△ 32.7
10 教育費	1,085,930	10.2	1,098,877	11.4	△ 12,947	△ 1.2
11 災害復旧費	212,312	2.0	228,177	2.4	△ 15,865	△ 7.0
12 公債費	1,397,867	13.1	1,425,230	14.8	△ 27,363	△ 1.9
13 諸支出金	21,483	0.2	17,817	0.2	3,666	20.6
14 予備費						
歳出合計	10,664,575	100.0	9,622,340	100.0	1,042,235	10.8

## 令和2年度一般会計目的別経費の状況



## 令和2年度歳出決算対前年度比較



(5) 町債の状況

収入済額は922,231千円(対前年度183,766千円, 16.6%減)。  
減額の主な要因は、前年度実施した過疎債・一般廃棄物処理施設建設事業の差額  
です。

町債の借り入れ, 償還, 現在高の状況

(単位:千円)

会 計 別	令和元年度 末現在高 A	令和2年度発 行額 B	令和2年度償還額 C	令和2年度末現 在高 A+B-C
(一般会計)	8,813,706	922,231	1,374,249	8,361,688
(特別会計)	1,846,744	67,000	107,966	1,089,297
巡 回 診 療	94,103	0	18,206	75,897
国 保 直 診	0	0	0	0
船 舶	476,937	11,400	48,738	439,599
上 屋	35,211	0	3,480	31,731
農業集落排水	86,151	4,800	8,772	82,179
簡 易 水 道 (上水会計統合分)	437,861 716,481	50,800	28,770	459,891
合 計	10,660,450	989,231	1,482,215	9,450,985

上 水 道 (簡水会計統合分)	657,160		63,003	594,157 716,481
--------------------	---------	--	--------	--------------------

## 2 令和3年度上半期財政運営のあらまし

令和3年度の補正予算を中心に上半期の財政運営状況を説明します。

### (1) 予算の規模(繰越明許費は除く)

各会計の補正状況

(単位:千円)

会計別	令和3年度 当初予算額 A	9月までの補正 額 B	9月補正後現計	
			現計予算 A+B	構成比
(一般会計)	8,575,672	941,033	9,516,705	71.2
(特別会計)	3,721,429	125,388	3,846,817	28.8
巡回診療	306,078	△ 9,939	296,139	2.2
国保事業	1,299,420	37,008	1,336,428	10.0
国保直診	17,632	0	17,632	0.1
介護保険	1,296,680	51,732	1,348,412	10.1
後期高齢	135,628	1,278	136,906	1.0
屠畜場	2,133	0	2,133	0.0
船舶	344,524	23,601	368,125	2.8
上屋	3,891	406	4,297	0.0
農業集落排水	63,371	0	63,371	0.5
簡易水道	252,072	21,302	273,374	2.0
合計	12,297,101	1,066,421	13,363,522	100.0

上水道事業	令和3年度 当初予算額 A	9月までの補 正額 B	現計予算 A+B
収益的収入	292,988	3,393	296,381
収益的支出	280,582	5,636	286,218
資本的収入	2	2,100	2,102
資本的支出	73,635	10,000	83,635

一般会計予算款別補正状況  
(歳入)

(単位:千円, %)

会計別	令和3年度 当初予算額 A	9月までの 補正額 B	9月補正後現計	
			現計予算 A+B	構成比
町 税	771,717	0	771,717	8.1
地 方 譲 与 税	59,142	0	59,142	0.6
利 子 割 交 付 金	508	0	508	0.0
配 当 割 交 付 金	1,546	0	1,546	0.0
株式等譲渡所得割交付金	883	0	883	0.0
法 人 事 業 税 交 付 金	3,354	0	3,354	0.0
地 方 消 費 税 交 付 金	177,590	0	177,590	1.9
環 境 性 能 割 交 付 金	1,384	0	1,384	0.0
地 方 特 例 交 付 金	3,340	1	3,341	0.0
地 方 交 付 税	4,070,760	0	4,070,760	42.8
交通安全対策特別交付金	1,500	0	1,500	0.0
分 担 金 及 び 負 担 金	32,454	110	32,564	0.3
使 用 料 及 び 手 数 料	190,775	0	190,775	2.0
国 庫 支 出 金	885,528	209,087	1,094,615	11.5
県 支 出 金	530,583	117,428	648,011	6.8
財 産 収 入	33,367		33,367	0.4
寄 付 金	121,001		121,001	1.3
繰 入 金	271,107	10,071	281,178	3.0
繰 越 金	1	505,849	505,850	5.3
諸 収 入	114,701	9,658	124,359	1.3
町 債	1,304,431	88,829	1,393,260	14.6
合 計	8,575,672	941,033	9,516,705	100.0

(歳出)

(単位:千円, %)

会計別	令和3年度 当初予算額 A	9月までの 補正額 B	9月補正後現計	
			現計予算 A+B	構成比
議 会 費	88,857	△ 463	88,394	0.9
総 務 費	1,010,631	510,006	1,520,637	16.0
民 生 費	1,541,164	23,686	1,564,850	16.4
衛 生 費	479,351	45,059	524,410	5.5
労 働 費	14,667	0	14,667	0.2
農 林 水 産 業 費	631,465	173,202	804,667	8.5
商 工 費	280,159	61,101	341,260	3.6
土 木 費	993,351	39,319	1,032,670	10.9
消 防 費	501,451	9,111	510,562	5.4
教 育 費	1,327,054	79,730	1,406,784	14.8
災 害 復 旧 費	119,604	282	119,886	1.3
公 債 費	1,551,280	0	1,551,280	16.3
諸 支 出 金	16,638	0	16,638	0.2
予 備 費	20,000	0	20,000	0.2
合 計	8,575,672	941,033	9,516,705	100.0



## (2) 予算の執行状況

令和3年度の上半期(4月1日～9月30日)までの各会計予算の収入及び支出状況は以下のとおりです。(繰越明許費は除く)

各会計予算の執行状況 (令和3年9月30日現在) (単位:千円, %)

会計別	歳 入			歳 出		
	予算現額	収入済額	収入率	予算現額	支出済額	支出率
(一般会計)	9,516,705	4,701,625	49.4	9,516,705	3,532,653	37.1
(特別会計)	3,846,817	1,237,921	32.2	3,846,817	1,439,636	37.4
巡回診療	296,139	51,966	17.5	296,139	94,349	31.9
国保事業	1,336,428	508,893	38.1	1,336,428	475,657	35.6
国保直診	17,632	2,575	14.6	17,632	5,349	30.3
介護保険	1,348,412	567,570	42.1	1,348,412	555,035	41.2
後期高齢	136,906	34,989	25.6	136,906	40,554	29.6
屠畜場	2,133	248	11.6	2,133	1,224	57.4
船舶	368,125	56,786	15.4	368,125	207,194	56.3
上屋	4,297	579	13.5	4,297	2,301	53.5
農業集落排水	63,371	4,756	7.5	63,371	10,704	16.9
簡易水道	273,374	9,559	3.5	273,374	47,269	17.3
合計	13,363,522	5,939,546	44.4	13,363,522	4,972,289	37.2

(単位:千円, %)

上水道事業	収 入			支 出		
	予算現額	執行済額	執行率	予算現額	執行済額	執行率
収益的収支	296,381	109,717	37.0	286,218	47,501	16.6
資本的収支	2,102	0	0.0	83,635	33,570	40.1

令和3年度一般会計の上半期の款別執行状況は次のとおりです。(繰越明許費は除く)

一般会計予算款別執行状況(歳入) (単位:千円, %)

科 目	予算現額	収入済額	収入率
町 税	771,717	440,778	57.1
地 方 譲 与 税	59,142	16,229	27.4
利 子 割 交 付 金	508	229	45.1
配 当 割 交 付 金	1,546	324	21.0
株式等譲渡所得割交付金	883	0	0.0
法 人 事 業 税 交 付 金	3,354	4,425	131.9
地 方 消 費 税 交 付 金	177,590	111,385	62.7
環 境 性 能 割 交 付 金	1,384	1,100	79.5
地 方 特 例 交 付 金	3,341	2,675	80.1
地 方 交 付 税	4,070,760	3,293,933	80.9
交 通 安 全 対 策 特 別 交 付 金	1,500	457	30.5
分 担 金 及 び 負 担 金	32,564	7,433	22.8
使 用 料 及 び 手 数 料	190,775	79,797	41.8
国 庫 支 出 金	1,094,615	136,418	12.5
県 支 出 金	648,011	40,370	6.2
財 産 収 入	33,367	11,614	34.8
寄 付 金	121,001	18,190	15.0
繰 入 金	281,178	0	0.0
繰 越 金	505,850	505,851	100.0
諸 収 入	124,359	30,417	24.5
町 債	1,393,260	0	0.0
歳 入 合 計	9,516,705	4,701,625	49.4

一般会計予算款別執行状況(歳出) (単位:千円, %)

科 目	予算現額	支出済額	支出率
議 会 費	88,394	44,603	50.5
総 務 費	1,520,637	633,373	41.7
民 生 費	1,564,850	507,873	32.5
衛 生 費	524,410	190,357	36.3
労 働 費	14,667	6,993	47.7
農 林 水 産 業 費	804,667	198,369	24.7
商 工 費	341,260	143,656	42.1
土 木 費	1,032,670	157,274	15.2
消 防 費	510,562	225,552	44.2
教 育 費	1,406,784	691,707	49.2
災 害 復 旧 費	119,886	12,329	10.3
公 債 費	1,551,280	720,567	46.4
諸 支 出 金	16,638	0	0.0
予 備 費	20,000	0	0.0
歳 出 合 計	9,516,705	3,532,653	37.1

### 3 町有財産の状況

町有財産には公有財産、物品、債権及び基金が含まれますが、これらの町有財産の管理については条例や規則によってそれぞれの管理がなされています。その概要は以下のとおりです。

#### 【一般会計】

##### i) 公有財産

##### (1) 行政財産

##### ① 土地及び建物

(単位: m<sup>2</sup>)

区 分		土 地	建 物
本 庁 舎		2,771.76	4,315.83
その他の 行政機関	消 防 庁 舎	9,986.96	1,779.57
	その他の施設	794.94	89.87
公共用 財産	学 校	120,218.28	40,797.00
	公 営 住 宅	54,564.44	37,754.85
	公 園	122,406.08	325.72
	その他の施設	254,445.01	31,883.53
計		565,187.47	116,946.37

##### (2) 普通財産

##### ① 土地及び建物

(単位: m<sup>2</sup>)

建 物		
		2,422.55
土 地	宅 地	30,780.03
	田	3,480.00
	畑	17,447.19
	原 野	4,546,823.44
	山 林	6,377,551.35
	雑種地	83,167.21
	墓 地	78,817.90
	保安林	754,582.75
計		11,895,072.42

林 野	11,678,957.54
-----	---------------

(原野+山林+保安林)

##### ② 有価証券 (単位: 千円)

区 分	現 在 高
株 券	14,140

##### ③ 出資による権利 (単位: 千円)

区 分	現 在 高
出資証券	296,993

## ii) 物 品

区 分	台 数
普 通 乗 用	6
普 通 貨 物	7
小 型 乗 用	17
小 型 貨 物	10
マ イ ク ロ バ ス	0
消 防 車	13
特 殊 用 途 車	12
大 型 特 殊 車	2
小 型 特 殊 車	18
軽 ( 四 輪 貨 物 )	35
軽 ( 四 輪 乗 用 )	17
船 舶	3
原 付	1
合 計	141

## iii) 基 金

(単位:千円)

区 分	現 在 高
財 政 調 整 基 金	預 金 現 金 1,500,000
地 方 債 管 理 基 金	預 金 現 金 169,000
高 額 医 療 資 金 貸 付 基 金	預 金 現 金 2,774
	債 権 0
奨 学 資 金 貸 付 基 金	預 金 現 金 4,882
	債 権 26,532
肉 用 牛 導 入 基 金	預 金 現 金 8,795
	物 品 29,012
地 域 振 興 基 金	預 金 現 金 3,922
地 域 福 祉 基 金	預 金 現 金 955
ふ る さ と 水 と 土 保 全 基 金	預 金 現 金 10,000
教 育 振 興 人 材 育 成 基 金	預 金 現 金 1
青 少 年 育 成 基 金	預 金 現 金 1,140
公 共 施 設 維 持 管 理 基 金	預 金 現 金 442,306
土 地 開 発 基 金	預 金 現 金 27,591
	不 動 産 0
大 学 入 学 一 時 金 貸 付 基 金	預 金 現 金 39,286
	債 権 4,455
ふ る さ と 応 援 基 金	預 金 現 金 83,621
特 別 産 業 振 興 資 金 貸 付 基 金	預 金 現 金 10,914
特 別 水 産 業 対 策 基 金	預 金 現 金 10,000
特 別 肉 用 牛 導 入 基 金	預 金 現 金 8,127
	物 品 1,880
酒 造 用 含 み つ 糖 生 産 対 策 補 給 基 金	預 金 現 金 2,439
災 害 対 策 準 備 基 金	預 金 現 金 7,850
森 林 環 境 譲 与 税 基 金	預 金 現 金 1,046
計	2,396,528

【特別会計】

i) 公有財産

(1) 公有財産

① 土地及び建物

(単位:㎡)

区 分	土 地	建 物
巡回診療施設会計	1,974.63	1,839.21
国民健康保険会計	601.01	119.56
屠畜場事業会計	0.00	538.99
船舶交通事業会計	1,431.23	383.72
古仁屋港上屋事業会計	0.00	161.50
農業集落排水事業会計	915.25	361.80
簡易水道事業会計	13,907.00	221.30
計	18,829.12	3,626.08

② 動 産

区 分	現 在 高
船舶交通事業会計	2隻(284.00ト)

(2) 行政財産

① 土地及び建物

(単位:㎡)

区 分	土 地	建 物
巡回診療施設会計	1,974.63	1,839.21
国民健康保険会計	601.01	119.56
屠畜場事業会計	0.00	538.99
船舶交通事業会計	1,431.23	383.72
古仁屋港上屋事業会計	0.00	161.50
農業集落排水事業会計	915.25	361.80
簡易水道事業会計	13,907.00	221.30
計	18,829.12	3,626.08

ii) 物 品

区 分	現 在 高	
巡回診療会計	車 両	6台
	レ ン ト ゲ ン	2台
計	8台	

iii) 基 金

(単位:千円)

区 分	現 在 高
国民健康保険基金	6,781
船舶建造基金	4,780
介護給付費準備基金	127,573
計	139,134